

学校運営を地域に開く

「開かれた学校づくり」から発信

合併後、本町の学校は、幼稚園6園、小学校12校、中学校5校になりました。

このコーナーでは、各園・学校の取り組みや様子をお知らせし、地域の学校としての情報発信をしていきます。地域の皆様には、様々な取り組みにご理解とご協力をいただいてきましたが、今後とも地域ぐるみで子どもの健全育成に関わっていただけますよう、よろしく申し上げます。

伊野幼稚園 教育目標 心身とも豊かでたくましい子ども

伊野幼稚園は、子どもたちが身近な人や物、自然等に自主的・主体的にかかわって遊ぶことを大切にしています。その中で、思いきり心や体を動かして、考えたり、工夫したり、発見したり、感動したり、人のやさしさに触れたりする等、様々な体験ができるよう、環境を整備し、一人ひとりの発達や特性に応じた援助をして、心身ともに豊かでたくましい子どもの育成を目指しています。そのために、保護者や地域の方々との協力し合い、連携を取り合いながら、子どもの心を揺り動かすような豊かな体験が得られるように交流を積極的に進めています。

保護者や地域の方々との交流から

「伊野幼稚園おもいクラブ」

「伊野幼稚園おもいクラブ」への参加希望のおじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんたちと子どもたちとで、おもい作りから焼きいもまでをしています。クラブ員には「おもいだより」を発行しています。



「お話のとびら」

保護者が、絵本の読み聞かせ会「お話のとびら」をつくって、毎月、第2水曜日に園に来てくださり、子どもたちに絵本や紙芝居の読み聞かせや手遊びなどをしてくれています。



「地域のお年寄りとの交流」

地域の老人会を訪問したり、園に来ていただいたりして地域のお年寄りとの交流を深めています。お年寄りと一緒に遊んだり、踊ったり、プレゼントを交換したり、お弁当を食べたりしています。



本園へのホームページはこちらからどうぞ。 <http://www.town.ino.kochi.jp/sukoyaka/index.html>

神谷小学校 教育目標 心豊かでたくましく生きぬく子どもの育成

神谷小学校の平成16年度児童数は37名です。みんな明るく活発で、校庭のシロバナセンダンや天然記念物のウズラチャボを飼い、これらを自慢にしています。

2月の「6年生を送る会」では、たくさんの保護者や地域の方々に来ていただき、多くの声援をもらいました。

「6年生を送る会」児童の感想より（抜粋）

日本舞踊は目線をまちがえたけど、2曲目は成功しました。落語はたくさんの人が笑って楽しんでもらっていました。劇は楽しくてついつい笑ってしまいました。お客さんに笑ってもらえたのでよかったです。みんなが私たちにたくさんのメッセージを言ってくれてうれしかったです。今日の日は心に残る思い出になりました。忘れないようにしたいです。



落語



日本舞踊



1、2年生の劇

本川中学校

本川中学校では地域の伝統芸能である「若衆太鼓」と「花取り踊り」を総合的な学習の時間などを利用して練習し、氷室まつりやふるさと芸能大会で発表しています。全くの初心者からのスタートですが、先輩や地域の方々に習いながら一生懸命取り組んでいます。



<若衆太鼓>生徒感想より

「ドンドンドンドコ・・・」きちんと演奏ができるまで僕はとてもリズムと曲を覚えるのに苦労しました。小さいころから音楽があまり好きではなかったのですが、中学校に入ると太鼓をやらなければなりません。1、2年の時は太鼓の時間が嫌で、他の授業をしている方がいいと思っていました。しかし、3年生になると演奏にも慣れて、体でリズムも覚えることができました。そして太鼓での演奏が楽しく好きになり、音楽全般が好きになりました。これからも機会があったら太鼓の演奏をしたいなと思います。



<花取り踊り>生徒感想より

踊る前は簡単そうに見えたけど、踊ってみると足の動きを覚えるだけで時間がかかってしまいました。花取り踊りは体の動きが少し硬いだけでも台無しになってしまいます。体の動きを滑らかにするのはとても難しかったですが、スムーズに踊れるようになるにつれて楽しく踊ることができました。これからもこの伝統芸能を引き継いでいって欲しいなと思います。

～いの町の地域ぐるみ教育をすすめるために～

「学校と地域の協働セミナー」のご案内

子どもたちを地域ぐるみで育てていくためには、「開かれた学校づくり」や「学校と地域の協働」が欠かせません。協働によって生み出されるものは、地域やPTAの教育責任の再分担とともに、教員が学習指導に専念できる環境をつくることでもあります。また、学校が地域住民の社会参加の場として開かれることも必要です。

地域の教育力？どうやって私の力を学校に生かしたらいいの？そんな疑問を解決するヒントが学べるセミナーです。

熱意のこもった廣瀬先生のエネルギーを分けてもらい、これからの地域づくり・生きがいづくりに活かしませんか？

演 題

「学校と地域の協働を進める10の提案」

講 師

廣瀬 隆人(宇都宮大学教授)

講師プロフィール

北海道生まれ。北海道で高等学校の教員、社会教育主事、国立教育会館社会教育研修所専門職員を経て、現職。専門分野は、地域づくり、NPO、ボランティア、社会教育施設、生涯学習論等。主な著書に「地域学と生涯学習」「学校と地域のネットワーク」「【ひと・まち・学び】と地域づくり」などがある。

日時 5月21日(土) 15:00～17:30
会場 伊野公民館(いの町3597)
主催 いの町地域教育推進協議会
いの町教育委員会

問い合わせ先
学校教育課

☎ 893-1922

ひとくちメモ

「協働」とは……異なる立場のものが、お互いの特性を認め合い、お互いのよさを生かしながら、対等な協調関係を基本にして心と力を合わせ、課題を解決していったり何かを生産していったりする具体的な活動や取り組み。